

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	地域医療確保強化事業			担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始年度	平成29年度	事業終了 (予定)年度	平成37年度	担当課室	地域医療計画課医師確保等地域医療対策室		室長：伯野 春彦		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域枠医師の医師不足地域・診療科への配置・定着を促進するとともに、地域医療支援センターが行う地域の医療機関への医師派遣や医師の配置調整に必要な人材を確保することで、都道府県の医師確保対策を強力に推進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県が行う、地域枠医学生に対する、卒後、地域医療支援センターが策定するキャリア形成プログラムに基づき医師不足地域・診療科で勤務することを返還免除条件とする修学資金貸与事業に対して補助を行う。 補助基準額：地域枠医学生1人あたり年間360万円 補助率：1/2								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位：百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	3,036		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		0	0	0	0	3,036		
	執行額		-	-	-	-	-		
執行率 (%)		-	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	地域医療支援センターが策定するキャリア形成プログラムに基づき医師不足地域・診療科に従事する医師数		医師の配置調整数	成果実績	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	精査中
				達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	修学資金の貸与者数			活動実績	-	-	-	-	
				当初見込み	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	単位当たりコスト=X / Y X:執行額 Y:修学資金の貸与者数			単位当たりコスト	-	-	-	-	
				計算式	X / Y	-	-	-	-
平成28・29年度予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	医療施設運営費等補助金	-	3,036	「新しい日本のための優先課題推進枠」3,036					
	計	0	3,036						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること										
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)										
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 年度			
		実績値	-	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	本事業を実施することにより、医師不足地域・診療科への医師の配置・定着を促進することができ、良質かつ適切な医療を提供することができる。											
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-		
目標値			-	-	-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												
事業所管部局による点検・改善												
	項目				評価	評価に関する説明						
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	医師不足や地域格差は、地域医療の重要な課題である。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	医師不足や地域格差は、全国的な問題であり、国として財政支援を行う必要がある。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	医師不足や地域格差は、都道府県においても重要な課題と認識しており、優先的に対策を実施する必要がある。						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				-							
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				-							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				-							
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-							
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				-							
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				-							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				-							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				-							
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				-							
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-							
	所管府省・部局名		事業番号		事業名							
点検・改善結果	点検結果	-										
	改善の方向性	-										

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。

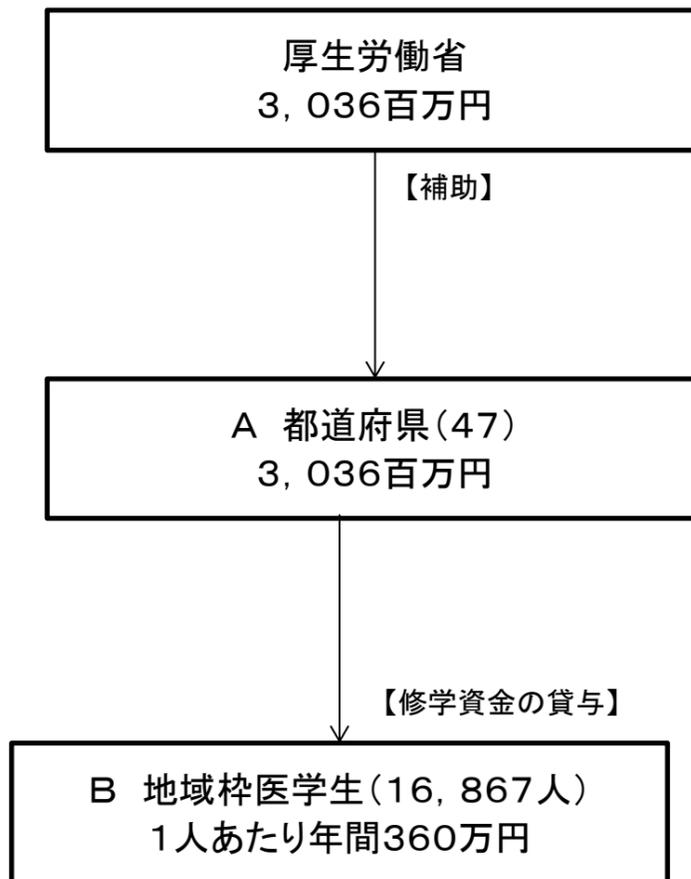
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

